

児童発達支援事業所



2024.11月号

Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/jidoshien/korokoroiba/>

遊びを通して、生きる力を育てる

おままごとをしていたときに、職員が「お肉食べたいなあ。」と言うと、包丁で切ってフライパンで焼く真似をしてからお皿に盛りつけてくれました。そして、「あ！フォークで食べてね。」と言いながらフォークも用意してくれました。

おままごとでは自分の経験を再現する遊びと言われています。一見“遊んでいるだけ”と思いますが、子どもたちはおままごとの中で現実の料理の練習をしています。他にも、お店屋さんごっこではお金のやりとりや買い手と売り手という役割の経験をしています。遊びでの経験が『料理を作って食べる』『買い物をする』『役割を持って仕事をする（店員）』など、将来の生きる力に繋がっていきます。

また、『箸を使って食事をする』ためには、手先の力の他にも姿勢を保って座ることや、食材を掴んで口へ持っていくまでの距離感を把握するなど、様々な力が組み合わせることで可能になります。ころころ伊場では、器具運動や集団遊びから体幹づくりをして姿勢保持に繋げる、ふれあい遊びから距離感を知るなど、直接的に箸の練習をしなくても、遊びを通して様々な力を伸ばしていくことで『箸を使って食事をする』ことへ繋げていきます。

今後も、“楽しくみんなで遊んでいたら、いつの間にかできるようになった”というように、子どもたちの興味や好きな遊びを取り入れる中で様々な経験を重ねていき、子どもたちの生活動作・生きる力へと繋げていきたいと思えます。



『やってみたい』の気持ちを大切に

ある日のほしクラスの帰りの会で、お休みの日に何をしているか子どもたちに聞いてみると「廃材を使ってバスを作っている。」とAくんが教えてくれました。その発言から「私も作ってみよう！」となり、次の利用日にバスづくりの製作をしました。さらに次週の利用日に作ったバスを使って遊ぼうとなり、一人は「ママに見せたいから持って帰って、またころころに持ってくる!」、もう一人は「(バスを持ってくるのを)忘れちゃうかもしれないから置いておきたい!」と言っていました。

『次のころころでこの遊びをしよう』と子どもたちと決めると、一人ひとり見通しを持ちながら自分たちでどうするか考える姿がありました。子どもたちの『次はこれをやってみよう』『もう一回やりたい』など、期待感や意欲を大切にしながら、様々な遊びを一緒に楽しんでいきたいと思えます。

🌻たいよう🌻

< 集団遊び >

ころころ2階のきしゃぽっぽの部屋で、鬼ごっこや転がしドッチなど集団遊びをしました。広い園庭ではなく、あえて汽車ポッポの部屋を選んで行いました。園庭では、広すぎて声が届かなくなってしまうたり、遊具や保育園の友だちなど目に入るもの・気になるものがたくさんあるからです。子どもたちに集団遊びの楽しさを経験してほしいと、きしゃぽっぽにしました。

始めにむっくりクマさんという鬼ごっこをしました。寝たふりをしたクマ役の担任を囲んで輪になり、歌いながら周りをまわります。歌が終わると「ガオー！」とクマが追いかけてきます。年中の子でも怖がってしまう子があるので、避難できる場所としてマットの上を“お家”にしました。クマが目を覚ましたとたんに、急いでマットのお家に逃げてホッとした表情をした子がいました。

次にやった転がしドッチでは、始めに担任が投げる役をしました。ロープで囲った範囲の中で上手に逃げる子どもたちです。普段のんびりマイペースな子が、足をパッと開いて股を通過させよけていました。友だちの後ろに隠れていたら前の友だちがよけたので自分に当たってしまい、予想外の出来事に「もう！いやだー！」と怒れてしまう子もいましたが、もう一回できるからね、くやしかったね、と声をかけると気を取り直し、ロープの外に出ていきました。二回目には「投げるのやりたい」と手をあげた子が二人おり、ボールを譲り合いながら転がす役をやりました。

最後にやった替わり鬼では、タッチされて鬼が替わっていくことが視覚的にわかるよう、鬼の目印としてハンカチを持って追いかけてきました。限られた範囲だったこともあり、全体を見て今誰が鬼かがわかりやすく、全員が楽しんで参加することができました。楽しく遊んだ経験を重ねていくことで、自分のクラスでも自信を持って日々過ごしていけたらうれしく思います。

☆ほし☆

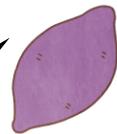
< 久し振りの散歩へ >

○一条公園

暑さが少しずつ落ち着いてきたため、急遽公園に散歩に出かけることにしました。久し振りの散歩に子ども達はすぐに支度をして準備万端！道中もいろいろな話をしながらも車や自転車に自分たちで気を付けながら歩きました。

公園では、まずは遊具に向かいまいしたが、すぐに「鬼ごっこしよう」と声があがり、みんなで楽しみました。以前はすぐに疲れてしまう子や、鬼になると遊びが嫌になってしまう子もいましたが、今回は誰ひとり嫌にならずに、繰り返し楽しむ姿に成長を感じました。

おいも 大きくなったかな



○どんぶらっこ公園

片道20分かけてお出かけ！遠い公園に行くため、速く歩いて公園でたくさん遊ぼうと話をして、いつもより速いスピードで歩き公園へ。公園では、みんなで1つ遊びを決めて色鬼をしたり、自分のやりたい遊具を探して出来ることをみせてくれたりと、思い切り身体を動かして遊びました。たくさん遊んだので帰りは疲れてしまうのでは…と聞いていましたが、帰りも「1.2、1.2…」と掛け声をかけながら長い坂道を登る姿に逞しさを感じました。